



父の背中追って、日本で見つけた宝物



国	籍	インドネシア
職	種	ビルクリーニング
実習実施者		株式会社 ビークルエッセ
監理団体		広昌会協同組合

アイコ スチフタ ラマダン
AIKHO SUCIFTA RAMADHAN

子どもの頃、私はよく父が縁側で空を眺める姿を見ていました。夕空を見ながら、父は「日本の空もこうだよ」と微笑みました。その瞬間、私の心には「いつか日本へ」という夢が生まれました。

父は技能実習生として日本で働いていました。彼の体験談は私の憧れとなり、「私も日本へ行きたい」と思うようになりました。

高校卒業後、警察官（女性）の試験受けましたが、不合格に。落ち込みましたが、諦めませんでした。新たな道を探し、日本で働くことに興味を持ち、日本語の勉強を始めました。ひらがなとカタカはすぐに覚えましたが、漢字はとても難しかったです。それでも「日本に行く」という思いで努力を続け、ついに夢が叶いました。

来日したのは秋から冬へ変わる頃。雨の中、車から見た紅葉の景色が美しく、強く印象に残りました。空気が澄んでいて、心まで洗われるような気がしました。

驚いたのは日本の車の窓。とても透明で、外から中がよく見えるのです。インドネシアのスモークガラスとは違い、感動しました。細かい

ことかもしれませんが、こういった違いが日本の丁寧さや配慮を表していると感じました。

研修では多国籍の実習生と出会い、日本語の発音の違いに驚きました。中国の友人は話せなくても漢字に強く、刺激を受けました。皆が一生懸命学び、支え合っていた姿は忘れられません。

初めて祭りを見た時、別世界のような感じでした。浴衣姿の女性はインドネシアのクバヤを思わせる美しさ。似ていて懐かしく感じました。どこか故郷に通じる雰囲気があり、心が温くなりました。

和服といえば着物だけと思っていた私にとって、浴衣の存在は新鮮な発見でした。日本の文化は奥が深く、学ばば学ぶほど興味が湧いてきます。

この1年、日本での生活は驚きと感動の連続でした。整然と並ぶ人々、高機能なトイレ、真面目に働く高齢者、そして自然災害に対する準備や協力体制など、多くのことから学びました。全てが私の価値観を広げてくれました。

日本の文化が大好きです。インドネシアとの違いや共通点を学ぶのが楽しく、これからも多くを体験したいです。伝統とテクノロジーが共存する日本の姿は、本当に魅力的です。そしていつかこう言いたいです。

「私は、日本の素晴らしさを自分の目と心で体験しました。」

父の話から始まった夢は、今は私の物語となりました。日本での経験は宝物です。そしてこれは、新しい物語の始まりです。失敗は終わりではなく、新しい道の始まりです。あきらめかけたとき、私は父の姿を思い出し、もう一度立ち上がることができました。